

かはくスクールプログラム「鳥のくちばしのひみつ」プログラムガイド

令和2年度4月

国立科学博物館 学習課学校連携担当

プログラム展開 (45分)

時間	■学習活動
5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">導入</div> <p>○ボランティア・職員自己紹介</p> <p>■学習テーマと活動内容の確認</p> <p>○テーマ「鳥のくちばしのひみつ」</p> <p>○活動について</p> <p>【頭骨標本の扱い方】</p> <p>①標本は両手で持つ。</p> <p>②テーブルの上で観察する。</p> <p>③1番はケースから出さない。くちばしの上下が開閉できるのは6番のみ。</p>
10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">頭骨標本（6種）の観察①</div> <p>■各グループで標本観察を行う。</p> <p>○くちばしの形状や大きさ、目の位置などの特徴に注目する。</p>
5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">食べ物（モデル）の推理②</div> <p>■鳥の食べ物について考える。</p> <p>○頭骨標本の特徴から食べ物を推理する。</p>
5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">道具の推理③</div> <p>■くちばしのはたらきに似ている道具を参考に、食べ物の取り方について考える。</p> <p>○道具の特徴からどの鳥のくちばしのはたらきに似ているか、推理する。</p>
5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">つぶやきの推理④</div> <p>■つぶやきカードを用いて、どの鳥のつぶやきか推理し、①②③と組み合わせる。</p> <p>○なぜそのように組み合わせたのか、考えをまとめる。</p>
10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">推理発表⑤</div> <p>■推理（考察）の結果を発表する。</p> <p>○なぜその組み合わせになったのか、考えを発表する。</p>

5分

まとめ

■鳥のくちばしと食べ物に関連性についてまとめる。

○頭骨標本で登場した鳥のくちばしの特徴についてふりかえる。

⇒鳥のくちばしには様々な形があり，食べ物を取って食べるのに都合がよいつくりになっている。

■アンケートを記入する。

○館内の関連展示について知る。

○プログラム終了の挨拶